

## 【調査結果の概要】

### 1 概況

平成25年の概況は次のとおりである。

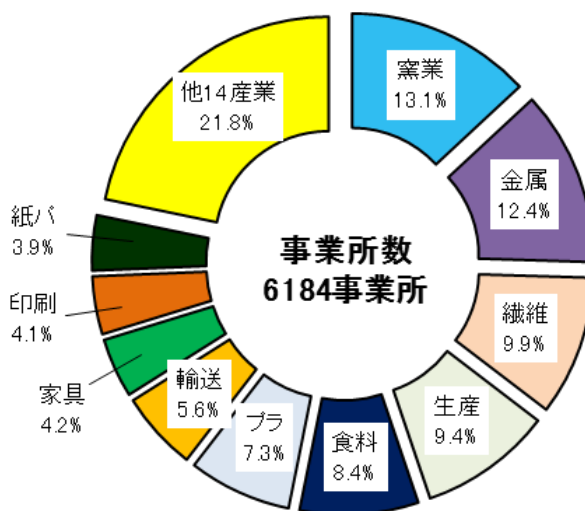
- ◎ 事業所数は、6184事業所で、前年に比べ217事業所（前年比△3.4%）減少した。
- ◎ 従業者数は、19万733人で、前年に比べ1428人（同△0.7%）減少した。
- ◎ 製造品出荷額等は、4兆7974億円で、前年に比べ2107億円（同△4.2%）減少した。
- ◎ 付加価値額は、1兆7173億円で、前年に比べ853億円（同△4.7%）減少した。

\* 従業者4人以上の製造事業所について、集計・分析を行ったものである。

## 2 事業所数（従業者4人以上）

- ① 事業所数は6184事業所で、前年に比べ217事業所（前年比△3.4%）減少している。（表-1）
- ② 産業別にみると、増加したのは、業務用機械器具製造業（前年比7.5%）など3産業である。一方、減少したのは、繊維工業（同△6.6%）、生産用機械器具製造業（同△4.3%）、窯業・土石製品製造業（同△2.9%）など20産業である。（表-2）
- ③ 従業者規模別にみると、4～9人事業所で大きく減少している。（表-3）
- ④ 圏域別にみると、すべての圏域で減少しており、岐阜圏域（前年比△4.1%）、中濃圏域（同△3.1%）、西濃圏域（同△3.7%）、東濃圏域（同△2.6%）、飛騨圏域（同△2.6%）であった。（表-4）
- ⑤ 産業別に構成をみると、窯業・土石製品製造業が808事業所（構成比13.1%）と最も多く、次いで金属製品製造業が768事業所（同12.4%）、繊維工業が613事業所（同9.9%）となっている。（表-2）

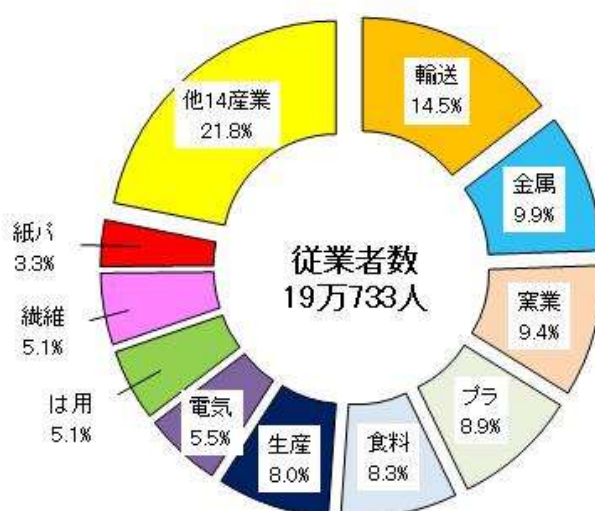
図-1 事業所数の構成（従業者4人以上）



### 3 従業者数（従業者4人以上）

- ① 従業者数は19万733人で、前年に比べ1428人（前年比△0.7%）減少している。（表-1）
- ② 産業別にみると、増加したのは、輸送機械器具製造業（前年比2.9%）、業務用機械器具製造業（同37.0%）、生産用機械器具製造業（同3.4%）など11産業である。一方、減少したのは、電子部品・デバイス・電子回路製造業（同△25.5%）、情報通信機械器具製造業（同△54.1%）、電気機械器具製造業（同△5.1%）など13産業である。（表-2）
- ③ 従業者規模別にみると、300～499人事業所で大きく減少している。（表-3）
- ④ 圏域別にみると、増加したのは、東濃圏域（前年比1.7%）、飛騨圏域（同0.8%）であった。一方、減少したのは、西濃圏域（同△3.4%）、中濃圏域（同△0.7%）岐阜圏域（同△0.4%）であった。（表-4）
- ⑤ 産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が2万7748人（構成比14.5%）と最も多く、次いで金属製品製造業が1万8847人（同9.9%）、窯業・土石製品製造業が1万7903人（同9.4%）となっている。（表-2）

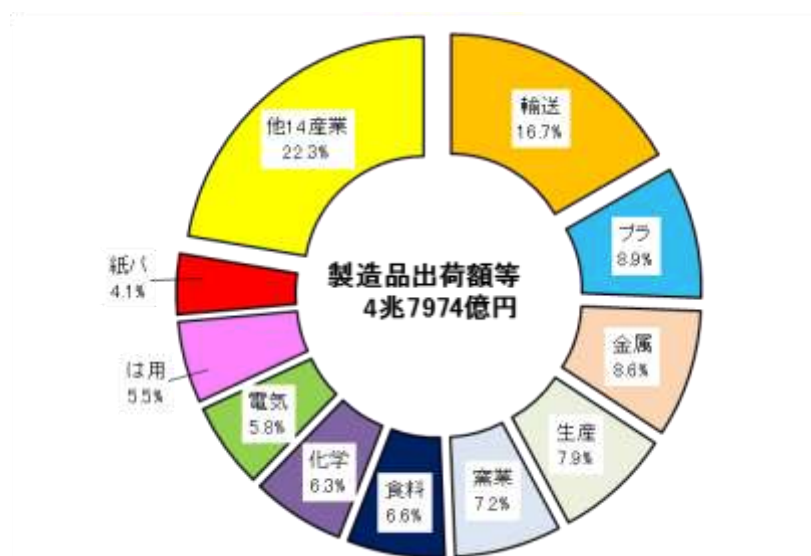
図-2 従業者数の構成（従業者4人以上）



## 4 製造品出荷額等（従業者4人以上）

- ① 製造品出荷額等は4兆7974億円で、前年に比べ2107億円（前年比△4.2%）減少している。（表-1）
- ② 産業別にみると、増加したのは、化学工業（前年比 3.2%）、食料品製造業（同 2.6%）、木材・木製品製造業（同 13.7%）など11産業である。一方、減少したのは、情報通信機械器具製造業（同△87.6%）、電子部品・デバイス・電子回路製造業（同△26.5%）、輸送用機械器具製造業（同△4.5%）など13産業である。（表-2）
- ③ 圏域別にみると、増加したのは、飛騨圏域（前年比 1.2%）であった。一方減少したのは、中濃圏域（同△6.4%）、西濃圏域（同△7.4%）、岐阜圏域（同△2.0%）、東濃圏域（同△0.4%）であった。（表-4）
- ④ 産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が8016億円（構成比 16.7%）と最も多く、次いでプラスチック製品製造業が4265億円（同8.9%）、金属製品製造業が4116億円（同8.6%）となっている。（表-2）

図-3 製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



## 5 付加価値額（従業者4人以上）

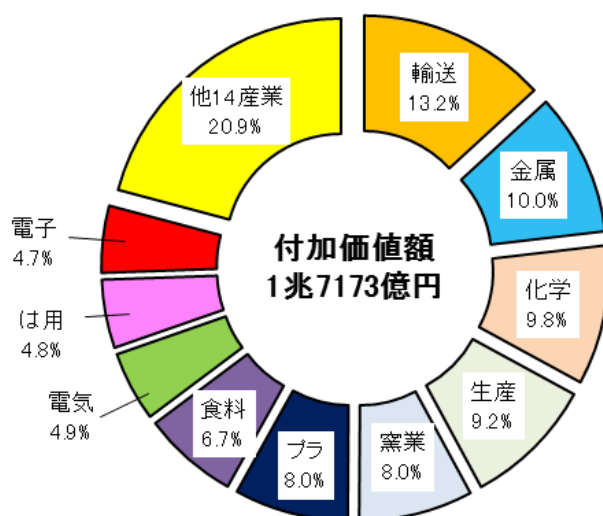
① 付加価値額（粗付加価値額での集計を含む）は1兆7173億円で、前年に比べ853億円（前年比△4.7%）減少している。（表-1）

② 産業別にみると、増加したのは、プラスチック製品製造業（前年比3.1%）、化学工業（同2.5%）、非鉄金属製品製造業（同14.7%）など8産業である。一方、減少したのは、輸送用機械器具製造業（同△14.0%）、電子部品・デバイス・電子回路製造業（同△22.5%）、電気機械器具製造業（△9.2%）など16産業である。（表-2）

③ 圏域別にみると、増加したのは、飛騨圏域（前年比1.4%）、中濃圏域（同0.2%）であった。一方、減少したのは、西濃圏域（同△9.8%）、岐阜圏域（同△7.4%）、東濃圏域（同△2.0%）であった。（表-4）

④ 産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が2268億円（構成比13.2%）と最も多く、次いで金属製品製造業が1725億円（同10.0%）、化学工業が1689億円（同9.8%）となっている。（表-2）

図-4 付加価値額の構成（従業者4人以上）



## 6 圏域別にみた産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

### 【岐阜圏域】

製造品出荷額等は1兆2609億円で、前年に比べ251億円（前年比△2.0%）減少している。

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が3686億円（構成比29.2%）と最も多く、次いで化学工業が1378億円（同10.9%）、食料品製造業が967億円（同7.7%）などとなっている。

### 【西濃圏域】

製造品出荷額等は1兆1505億円で、前年に比べ919億円（前年比△7.4%）減少している。

産業別に構成をみると、プラスチック製品製造業が1736億円（同15.1%）と最も多く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が1290億円（構成比11.2%）、窯業・土石製品製造業が1151億円（同10.0%）などとなっている。

### 【中濃圏域】

製造品出荷額等は1兆3677億円で、前年に比べ938億円（前年比△6.4%）減少している。

産業別に構成をみると、輸送用機械器具製造業が2362億円（構成比17.3%）と最も多く、次いで生産用機械器具製造業が1982億円（同14.5%）、金属製品製造業が1774億円（同13.0%）などとなっている。

### 【東濃圏域】

製造品出荷額等は7445億円で、前年に比べ31億円（前年比△0.4%）減少している。

産業別に構成をみると、窯業・土石製品製造業が1408億円（同18.9%）と最も多く、次いで電気機械器具製造業が1334億円（構成比17.9%）、輸送用機械器具製造業が762億円（同10.2%）などとなっている。

### 【飛騨圏域】

製造品出荷額等は2738億円で、前年に比べ31億円（前年比1.2%）増加している。

産業別に構成をみると、化学工業が756億円（構成比27.6%）と最も多く、次いで非鉄金属製造業が336億円（同12.3%）、家具・装備品製造業が332億円（同12.1%）などとなっている。

図－5 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業者4人以上）

